

# 料理人から見る 学校給食と年中行事

国内の農業や漁業の魅力を児童生徒にも知ってもらおう。

そんな活動がきっかけとなり、2014年に発足した「和食給食応援団」。

現在では70名ほどの和食料理人が参加する大所帯となりました。

中でも、中心的存在ともいえるのがこちらの御三方。

長年活動に携わって来た立場から、

学校給食と年中行事の関わり方について語ってもらいます。



高木一雄

笠原将弘

奥田透

**笠原さん** 料理人の僕らからすると、年中行事は不可欠なものです。例えばフランス料理の献立は1シーズンに1度大きく変わります。中国料理は基本、年中同じ献立。でも和食の店では、4月なら桜、5月なら端午の節句といった具合に、年中行事に合わせて毎月変わります。

**高木さん** 「これがないと始まらない」というものですよね。悲しかったのは、秋や冬にかばちゃの献立の給食が出ると、子どもたちがハロウィンだと思うと聞いたとき。冬至だからかばちゃを食べるんだよ、と伝えるのが大人の義務でしょ。なぜこの時期これを食べるのが、意味を知らない料理はできますけど、僕ら料理人がお客様なんか理由を聞かれて答えられなかつたら、話にならない。学校でも同じですよ。

**奥田さん** 全部昔は当たり前だったことですね。あと、昔は行事食が一番のどちらうだったから、年中行事 자체が待ちに待った一大イベントだったはずなんですが、今はライフスタイルも変化しましたし、食環境も昔と比べて豊かになったから、やっぱり行事食から

「これがないと始まらない」というものですね。悲しかったのは、秋や冬にかばちゃの献立の給食が出ると、子どもたちがハロウィンだと思うと聞いたとき。冬至だからかばちゃを食べるんだよ、と伝えるのが大人の義務でしょ。なぜこの時期これを食べるのが、意味を知らない料理はできますけど、僕ら料理人がお客様なんか理由を聞かれて答えられなかつたら、話にならない。学校でも同じですよ。

**奥田さん** 全部昔は当たり前だったことですね。あと、昔は行事食が一番のどちらうだったから、年中行事 자체が待ちに待った一大イベントだったはずなんですが、今はライフスタイルも変化しましたし、食環境も昔と比べて豊かになったから、やっぱり行事食から

**笠原さん** 料理人の僕らからすると、年中行事に親しんでいたら給食が運動していくなら分かりやすいはず



詰まっているのが年中行事ですからね。

あとは、ありとあらゆることに稻作が関連している。

説明しておく、でも高学年になつたらもっと核心的な話をみてとか、分かりやすく換えてあげるのもいいかもしれません。

**奥田さん** 私がこの活動に関わってきているのは、先生方が本当に努力されているということ。苦労も多いと思いますが、僕らのような外部の人間が入ることで、状況が変わることも大きいです。

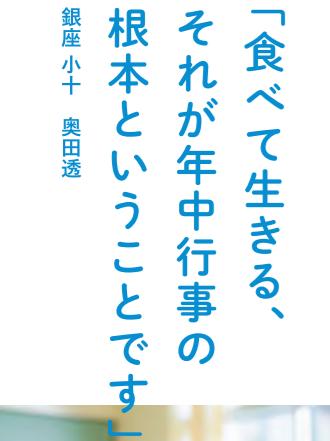
ありますが、僕らの活動も、実際にあります。給食もいいのですが、食育授業として1時間もあればだけでも違いますよ。校長先生やPTAの方にも参考してもらって、大人も巻き込んで。

**奥田さん** あと、僕ら料理人は普段学校で何が行われているか知らないから、実際の現場でできることできないことを、もっと先生方とディスカッションしたい。うちの店には、地元の小学校の先生方が普通に立ち寄ってくれますよ。

**高木さん** あと、僕ら料理人は普段学校で何が行われているか知らないから、実際の現場でできることできないことを、もっと先生方とディスカッションしたい。うちの店には、地元の小学校の先生方が普通に立ち寄ってくれますよ。

**笠原さん** そこから自分たちが学ぶことも多いですね。それも含めて、年中行事が色々なきっかけになるといふ思います。

「食べて生きる、それが年中行事の根本ということです」



笠原さん 昔の人の知恵とか、地区に残っている文化とか、そういうものが庭でできない今は、先生たちが伝える庭を出すのは難しいかもしれません。でも「今日はあさりで作ったけど、本当はまぐりで…」という話を、先生たち

「なぜこの時期これを食べるのか、理由を知らなかつたら、学校も同じ」



京料理たか木 高木一雄

高木さん 現代のように核家族化が進む以前は、おじいちゃんやおばあちゃんが、孫に年中行事の意味を教え、伝えてくれただと思います。それが家

庭でできない今は、先生たちが伝える

庭でできない今は、先生たちが伝える

庭でできない今は、先生たちが伝える

庭でできない今は、先生たちが伝える

庭でできない今は、先生たちが伝える

庭でできない今は、先生たちが伝える

庭でできない今は、先生たちが伝える

庭でできない今は、先生たちが伝える

庭でできない今は、先生たちが伝える